

# 校長室だより No.8

2018年 6月 11日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津健志

## 平日実施の引き渡し訓練へのご協力ありがとうございます

今日は、平日実施の引き渡し訓練を行いました。昨年までは、土曜授業参観日に実施していましたが、実際の災害発生に即しての訓練が必要であると考えてこのような計画としました。

今は多くのご家庭がご両親ともにお仕事をされています。土曜参観日の訓練では、保護者が引き取りされますが、平日の場合は、引き渡しカードに記載されている方（保護者以外）の方が引き取りにくる可能性が高いと思われます。

そのようなことから、今年は平日の引き渡し訓練としました。引き渡しの方法自体を保護者の方に理解していただく機会も別に考えながら、実際に即した訓練でいざという時に備えたいと考えています。

本日は雨となり、校舎内での引き渡しをしました。校舎については、耐震補強工事が完了しているため、震災後も避難所として利用できる構造になっていますので、ご安心ください。実際に悪天候の場合は、校舎内引き渡しとします。校舎内の人の流れについては、当日のお知らせとなり申し訳ございません。今回の反省をもとに、周知徹底をしております。

さて、首都直下型地震は必ず起きます。その時には、東日本大震災の教訓を生かさなければならぬと思っています。私は、2011年3月11日の東日本大震災を柏第一小学校の教頭として迎えました。

あの日は、短縮日課でしたので、地震時に校舎に残っていた児童は約200名。引き取りに来られない子供は方面別に教師が引率して自宅に届け、留守宅の子は学校に戻し、学校で保護者引取りを待ち、最後の子供は23時45分の引き取りでした。

学童ルームの子供のうち数名は翌朝の引き取りとなりました。

当時は、子供を確実に引き渡す作業と同時に、地震の揺れ直後に避難してきた人に加え、柏駅封鎖に伴う避難民が一時的には1000人近くとなり、体育館に収容すると同時に、避難誘導の対応もしました。最終的に11日の夜は、500名近い避難民を体育館と一部教室を開放して泊め、一部の職員と応援に来た柏市職員と一緒に、徹夜で対応をした記憶がまだ鮮明です。引き渡し訓練時は、子供と保護者への対応ですが、実際の災害の時には、学校は避難所としての機能も求められ、情報や対応が錯綜する中で、確実な引き渡しをすることが責務です。

先日、最高裁判所の判決で、引き渡しカードに記載されていない方に子供を引き渡し、結果として子供が津波に巻き込まれて亡くなったという東松島市の事案で、カードに記載されていない同級生の保護者に引き渡した学校側の過失である、と認められました。

非常災害時に、よかれと思って近所の子供を引き取り、学校の先生も善意によりしく願います、という気持ちで託した結果が、最悪の状況になったのです。痛ましい事案ですが、実際に関わった人たちの気持ちも痛いほどわかります。しかし、今回の判決は、どのような状況下でも、引き渡しカードに記載されている方以外への引き渡しは、絶対に認めてはならないということとなりました。

今回の引き渡し訓練をもとに、引き渡しカードに記載されている方との連携などを見直していただき、実際に即した形で引き渡しカードに記入されますようお願いいたします。

引き渡し訓練につきましても、ホームページより感想や改善案等を受け付けておりますので、よろしくお願いいたします。



3.11 柏一小体育館の様子